

令和7年度（2025年度）熊本市健康危機管理連絡会議録 一 要旨 一

会 議 名	令和7年度（2025年度）熊本市健康危機管理連絡会議
開 催 日 時	令和7年（2025年）8月5日（火） 14：00～15：00
開 催 場 所	熊本市中央公民館 6F 大会議室 3
出 席 委 員	別紙「令和7年度健康危機管理連絡会議委員出席者名簿」のとおり
事 務 局	熊本市 健康危機管理課
報 道 機 関	なし
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健所長あいさつ 2. 委員紹介 3. 熊本市健康危機管理体制について 4. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度健康危機管理事業報告 (2) 令和7年度健康危機管理事業計画 (3) 健康危機管理幹事会各課の取組報告・計画報告 5. 報告 熊本市新型インフルエンザ等対策行動計画改定について
議事要旨	
<p>議題（1）「令和6年度健康危機管理事業報告」</p> <p>議題（2）「令和7年度健康危機管理事業計画」</p>	
	（意見・質問なし）
議事（3）健康危機管理幹事会各課の取組報告・計画報告	
委員	<p>医療現場でよく見る怖い健康危機事案として、マムシによるものや破傷風など。それらに関しての相談はあるか。</p> <p>マムシの認知が少なく、マムシに咬まれたかどうかわからずに結構時間が経過してからパンパンに腫れた状態で受診される。最近受診された方も「それはマムシですよ」と言うのととても驚かれた。実際にマムシをみる機会がない。</p> <p>沖縄や長崎の島のほうはマムシが多く、行政を挙げて対応しているようだが、熊本市ではどうか。</p>
生活衛生課	令和6年度はヘビに関する相談は12件ほどあったが、「ヘビがいるがどう対応した

	<p>らよいか」というものだった。ただそれがママシかどうかという問い合わせではなく、当課でもママシかどうかの確認はしていない。「そっとしておけば逃げていきますよ」という案内をしている。明らかにママシということになると、関係課と連携しながら対応を考えていく。</p>
委員	破傷風に関してはどうか。
健康危機管理課	破傷風感染の発生届は現時点では出ていない状況。
委員	現場で開業医の医師から、(傷のある患者に対し)どの程度の傷で、何歳くらいからトキソイド接種をするのかとよく聞かれる。破傷風ワクチンが定期接種になった以降に生まれた人は9割くらい免疫を獲得しているという認識だが、定期接種になる前に生まれた人達も接種したほうがよいという認識。熊本市から医療機関等に対し、破傷風ワクチンの接種勧奨は行っているか。
感染症予防課	(大人の破傷風ワクチンは)任意接種のため、特に勧奨は行っていない。
委員	ホームページなどで小児の定期接種を受けたのは何歳以下の方なのかなどの周知があると、市民の方も安心かなという気がする。医療機関の医師も非常に迷われるところであり、その辺はある程度固めたほうが良いのかなという印象。
議長	破傷風のワクチンについては、他の自治体の接種勧奨の仕方等も調べた上で、ホームページ等での周知を検討する。
報告 熊本市新型インフルエンザ等対策行動計画改定について	
	(意見・質問なし)
その他	
	(意見・質問なし)